

期 日 2023年11月3日(祝・金)・4日(土)

会 場 長野県飯田市南信濃  
3日 いろいろの宿 島畑 ※宿泊所  
飯田市南信濃八重河内 580  
(電話) 0260-34-2286

4日 南信濃地域交流センター  
(南信濃自治振興センター)  
飯田市南信濃和田 2956-3  
(電話) 0260-34-5111

参加費 ①研究会  
・両日参加の方 5,000円  
・4日のみの方 2,500円  
・4日午後のみの方 2,000円  
②宿泊(3日1泊)・交流会  
・宿泊され、交流会に参加される方 11,000円  
・交流会のみ参加される方 5,000円  
③4日の昼食が必要な方 昼食代 1,000円

※参加費は、常民大学関係者は団体ごとに徴収ください。一般の方は会場にて徴収いたします。

※4日午後は、常民大学関係者以外の一般聴講者の参加も受け付けます。(聴講料 1,000円)

申込み方法 常民大学関係者は、別紙の申込用紙に必要事項を記入の上、各常民大学で取りまとめてください。それ以外の方は、下記の申込先へお申し込みください。

申込み期限 10月20日(金)

申込み・問合せ先 櫻井弘人(遠山常民大学)  
(携帯) 090-7183-8195 (FAX) 0265-52-3915  
(メール) sakurai@cream.plala.or.jp

\*申込みはできるだけメールで御願います。

### ●会場案内図



### ●交通のご案内

【東京から南信濃まで(行き)】

#### 1 高速バス(新宿～伊那・飯田線)の利用

新宿バスタ 8:05 発—伊賀良(りんごの里) 12:06 着

※島畑までの送迎バス or 車 伊賀良 13:10 発 \*事前申込要

#### 2 東海道新幹線・飯田線

東海道新幹線(こだま) 品川駅 7:34 発—豊橋駅 9:39 着

飯田線・特急伊那路 豊橋駅 10:00 発—平岡駅 11:57 着

※平岡駅から島畑まで送迎いたします。

【南信濃から東京まで(帰り)】

#### 1 高速バス(新宿～伊那・飯田線)の利用

伊賀良までの送迎バス or 車 南信濃 16:30 発 \*事前申込要

伊賀良(りんごの里) 18:16 発—新宿バスタ 22:15 着

#### 2 飯田線・東海道新幹線の利用

特急伊那路 飯田線平岡駅 16:42 発—豊橋駅 18:31 着

※平岡駅まで送迎いたします。

常民大学運動50年・後藤総一郎没後20年記念

## 第34回常民大学合同研究会

研究主題 常民大学運動の果実



期 日 2023年11月3日(祝・金)・4日(土)

会 場 長野県飯田市南信濃

3日 いろいろの宿 島畑

4日 南信濃地域交流センター  
(南信濃自治振興センター)

主 催 常民大学合同研究会運営委員会

遠山常民大学(長野県)

飯田柳田国男研究会(長野県)

遠州常民文化談話会(静岡県)

於波良岐常民学舎(群馬県)

鎌倉柳田学舎(神奈川県)

立川柳田国男を読む会(東京都)

後 援 飯田市・飯田市教育委員会・南信濃公民館  
信濃毎日新聞社・中日新聞社・南信州新聞社

## 研究主題 常民大学運動の果実

常民大学運動は、戦後思想が曲がり角を迎えて学問のあり方が大きく問われていた最中、1972年に後藤総一郎先生が立ち上げた柳田国男の思想と学問を学ぶ研究会から始まります。

同じ時期に5年がかりで編纂された『南信濃村史 遠山』の刊行を契機に、1977年秋、先生の生まれ故郷で遠山常民大学が誕生しました。柳田学と「在地の思想」を核に据え、地域にこだわり、生活者としての自己認識と普遍性の獲得を目的とした、身銭主義と自主運営を原則とした「生活者の学び」です。

常民大学は全国の地に広がり、1983年には6つの常民大学で合同研究会を遠山の地で開催し、やがて10大学にまで発展しました。今回の合同研究会は34回目、そして後藤先生が2003年に志半ばで亡くなられてから20年目にあたります。

今回の合同研究会は、第1に、激変する国際情勢と人口減少と高齢化の進行や劣化する社会のなかで、その実情と農地を守りながら豊かな地域を創り出す活動について学びます。第2に、各地の常民大学から地域の民俗を記録する活動や生活者の学びの果実を報告します。そして、今日の「普遍的に共通する課題」を深め、「感性豊かに人間らしく凜として生きる」ための歴史意識の形成を探ります。



遠山常民大学第1期講義風景（『遠山常民大学の五年』より）

## 日 程

### 【第1日】 11月3日（祝・金）

会場：いろりの宿 島畑

#### 報告・討議「各常民大学の活動報告と今後について」

14:10 受付

14:30 開会 司会 山口茂記（立川柳田国男を読む会）

14:40～17:30 各常民大学からの報告（各20分）

①遠山常民大学

「10年ぶりに復活した遠山常民大学」（近藤大知）

②遠州常民文化談話会

「地域の民俗誌を編む－水窪から敷地へ－」（名倉慎一郎）

③飯田柳田国男研究会

「『東国古道記』から『信州随筆』へ」（宮下英美）

④鎌倉柳田学舎

「鎌倉柳田学舎－民俗学という視座の源－」（木庭久慶）

⑤於波良岐常民学舎

「於波良岐常民学舎のこれまでとこれから」（石原照盛・川島健二）

⑥立川柳田国男を読む会

「立川柳田国男を読む会の30年と後藤総一郎先生－君達はどう生きるか－」（米田裕正）

⑦常民大学合同研究会運営委員会

「遠野常民大学 荻野馨再評価と遠野の新しい継承のかたち」（小田富英）

18:00～20:00 交流会（夕食）

### 【第2日】 11月4日（土）

会場：南信濃地域交流センター

#### フィールドワーク「山村・遠山の現状をみる」

8:30～10:20

①「廃村集落をめぐる－遠山谷南部・梶谷集落－」  
案内：山崎律雄（遠山常民大学）他

10:30～11:00

②「遠山の農地を守る－針間農園の取り組み－」  
案内：針間道夫（遠山常民大学）

11:10～11:40 昼食

### 第34回合同研究会「常民大学運動の果実」

11:40 受付開始 司会 松上清志（飯田柳田国男研究会）

12:00 開会のあいさつ 針間道夫（遠山常民大学）  
来賓あいさつ

12:10 趣旨説明 山口茂記（立川柳田国男を読む会）

### 12:20 記念講演会

#### 「現代社会と村の精神」

講師 内山 節 先生（哲学者）

#### 内山 節 先生

哲学者。1950年、東京生まれ。群馬県上野村と東京を往復しながら暮らす。著書に『新しい共同体の思想とは』（農山漁村文化協会、2021年）、「『里』という思想」（新潮選書、2005年）、『文明の災禍』（新潮選書、2011年）、『自然の奥の神々 哲学者と共に考える環境問題』（宝島社、2010年）、『日本人はなぜキツネにだまされなくなったか』（講談社現代新書、2007年）など。

### 14:00 研究発表（各30分）

①「『農と水の民俗』<sup>\*1</sup>と常民」  
中山正典（遠州常民文化談話会）

②「常民大学共同研究の成果と「柳田国男年譜」<sup>\*2</sup>」  
小田富英（常民大学合同研究会運営委員）

③「『遠山霜月祭の研究』<sup>\*3</sup>」  
－後藤先生・遠山常民大学から自著へ－  
櫻井弘人（遠山常民大学）

\*1 中山正典 『農と水の民俗』 昭和堂 2023年

\*2 小田富英 「柳田国男年譜」 『柳田国男全集』別巻1  
筑摩書房 2019年

\*3 櫻井弘人 『遠山霜月祭の研究』 岩田書院 2022年

15:30 コメント

15:45 総括 久保田 宏（鎌倉柳田学舎）

16:00 閉会